

【以下、丸付き数字は質疑番号、一付き数字は同回答を示す。ただし質疑文は、質疑のみを抽出し、質疑者の個人情報に関わるもの・質疑者の意見や個人的見解は省略している。】

①【設置可能場所の明確化について】

設置可能な場所の条件に、「通常出入り可能な場所」という条件があるが、卒業生からすると現行の校内のオペレーションがどのようになっているか知ることができないため、どこが設置可能で、どこが設置不可能なのかの判断ができません。設置可能な場所を明確にし、当該箇所の図面情報の提示と、多方面からの写真を提供して頂けますでしょうか？

－ 1. 「大学」としての常識的使用形態より判断されたい。なお本学は、開学当初に比べ校舎の増築等はあったが、学生が出入り可能な場所と不能な場所の区別に特段の変化は無い。

②【現地見学会の開催について】

現地見学会の機会を与えて頂けますでしょうか？

－ 2. 「見学会」は特に設けないが、来校者は随時、学内見学可能である。来校の場合は、事前にメールにて人間環境デザイン学科助手（中井：c.nakai@kio.ac.jp 小松：c.komatsu@kio.ac.jp）あてに連絡されたい。当日は守衛室にて所定の手続きをとられたい。

③.【作ったものの最低耐久日数について】

仮に提案する内容は形を持ったモノである場合、恒久的なオブジェクトである必要はなく、数週間～数ヶ月程度に展示期間を絞ったインスタレーションのようなものであってもよいでしょうか？もし、最低展示日数に縛りがあるのであれば、その日数を明確にしてください。展示物の材料、工法、仕口等を決定するために必要です。

－ 3. コンペ目的は「学び舎」の設置や改修である。すなわち長期にわたる継続使用可能なものが条件で、短期的な展示等は想定していない。なお、耐用年数は数年以上を前提に、応募者にて適宜判断して良い。

④.【学生参加のワークショップの想定期間について】

学生が組み立てを行う場合、何人の学生が何日間程度稼働して完成することを想定しておりますでしょうか？2～3日を見込んでいる場合と、長期休みを利用した長期の活動なのかによって提案できる内容が大きく変わります。明確化をよろしくお願いいたします。

－ 4. 制作期間は、応募案により本学にて検討する。ただし、材料費（外注費を含む）の上限が80万円程度であることには留意されたい。

⑤.【作品の設置方法について】

既存の建築物や工作物、地面の舗装部分に対してビス等で固定することは可能でしょうか？

－ 5. 対象建築物に機能上・構造上・耐久性上悪影響を与えないことを前提に、可とする。

⑥【一次審査の審査員について】

審査方法の明確化をお願いしたいのですが可能でしょうか。事前に一次審査に加わる審査員の氏名を公表してください。作品が提出された後に、在学生有利になるような人選が行われたりすることを防ぎ、公平な審査をしていただくためです。

－ 6. 本年度の、本学人間環境デザイン学科全専任教員とする。

⑦【二次審査の不公平性について】

二次審査の方法にかなり疑問があります。卒業生や在校生に投票権があるとの記載がありますが、果たしてその方法で作品の良し悪しを純粋に審査し、良いものを当選させることができるのでしょうか？審査に加わる人間を適切な判断ができる人材に絞って頂くことを希望します。

－ 7. 皆で選ぶのも学び舎づくりの一つの過程である。対象物を使用する学生らが審査権を有するのは当然と考える。よって、審査方法の変更は行わない。

⑧【提出方法について】

郵送による提出は許可していただけるのでしょうか。もし可能であれば、担当の高橋さまのフルネームをお教えてください。宛先に記入するためです。

－ 8. 郵送提出は、受付期間内必着にて可とする。
宛先は、「畿央大学 学生支援センター 高橋宛」が良い。

⑨【組み立て実施予定日について】

いつ頃に設置することを想定していますか？2023年冬とか2024年3月とかそういった感じでも良いので示していただくことは可能ですか？

－ 9. 2023年度末までを想定しているが、決定案の内容により、再検討を行う。